

理学療法士・作業療法士免許取得後（登録日以降）の実務経験申告書について

公益社団法人日本理学療法士協会

臨床実習指導者講習会は「実務経験4年以上」の理学療法士・作業療法士が受講可能とされています。受講にあたりましては、実務経験を確認する必要があるため、必ず実務経験申告書をご提出ください。

なお、実務経験申告書は、現在ご勤務されている部門代表者または責任者に確認してもらい、実務従事証明をしてください。もし、現在はお勤務されておらず、施設代表者がいない場合には、直近の施設代表者にご依頼するなどにより、実務従事証明をしてください。

また、勤務申告書の勤務先の記載は、実務経験4年以上の要件を満たす施設数で構いません（例えば、1年勤務した施設と8年勤務した施設があれば8年勤務の1施設で可）

1. 実務経験申告書記載上の記載について

○ 業務の内容（実務経験の期間に算入できる業務）

実務経験4年以上に該当する業務については、「臨床実習指導者は、常勤換算で5年以上業務に従事した者であること。業務は、理学療法又は作業療法に関する業務であれば、行政における介護予防や、理学療法・作業療法関連企業における勤務なども含まれる。」とされています（理学療法士作業療法士養成施設指導ガイドラインに関するQ & A）。

現在の業務が臨床業務ではなく、解釈に迷う場合には、以下を参考にご記載ください。

以下に示す業務のほか、理学（作業）療法に関する業務の実務経験を4年以上を要すること

- 1) 医療機関、介護保険関連施設（付随する管理業務を含む）
- 2) 児童福祉法、障害者総合支援法、老人福祉法等に規定された施設
- 3) 学校養成施設における専任教員
- 4) 行政・研究機関
- 5) 介護予防事業等
- 6) 民間企業（機器開発、営業等）
- 7) 自営業
- 6) その他各種法律、条例に基づく業務

○ 期間の考え方・記入にあたっての注意点について

以下の期間の考え方に基づき、勤務申告書の「勤務期間（※1）」「あなたの週平均勤務時間（※2）」「勤務先における正職員の週平均勤務時間（※3）」をご入力いただくと、「実勤務期間」を自動的に算出できるようにしています。合計月数が48.0か月以上であることをご確認のうえ、講習会参加申請をしてください。

- 1) 勤務期間は月単位で記入してください。0.5未満は切捨て、0.5以上は切上げてください。
例) ある月の20日に採用（異動）等した場合、その月は20日まで勤務した勤務先・部署にてカウント
- 2) 「勤務先における正職員の週平均勤務時間」は、就業規則に定める正職員の所定労働時間です。
- 3) 「あなたの週平均勤務時間」は、残業を含まない所定労働時間です。
週によって勤務日数・時間が異なる場合は、4週、8週を単位とした平均時間としてください。

- 4) 育児休業、介護休業など、明らかに長い休業期間は、勤務期間から除算してください。
- 5) 疾病等による休職期間のうち、明らかに長い休職期間は勤務期間から除算してください。
- 6) 正職員から非常勤・パート、フルタイムから時短勤務など明らかな週平均勤務時間の変更は勤務先欄を分けて記載していただいても構いません。
- 7) 育児・介護休業法に定める育児短時間勤務の期間はその割合に応じて勤務期間から除算してください。

○ 期間の計算例（正規の勤務時間、1日7.5時間、週37.5時間と仮定）

2000年3月20日	〇〇大学理学療法学科卒業	
2000年4月1日	〇〇大学大学院理学療法学研究科入学	
2000年4月20日	理学療法士名簿登録（免許交付年月日）	→4/20が算出の起点 4月は0.5月未満 2000年5月～2002年3月末 $7.5/37.5 \times 23$ か月 = 4.6か月
2000年4月20日	A病院で週1日7.5時間、理学療法士として勤務（アルバイト）開始	
2002年3月15日	〇〇大学大学院理学療法学研究科修了	2009年10月は0.5月未満 産休までの期間 7年6か月 = 90か月
2002年3月31日	アルバイト退職	
2002年4月1日	B病院入職、正規職員フルタイム)	時短明けの2012年11月は 0.5月以上、時短勤務期間 1年7か月 = 19か月 $30/37.5 \times 19$ か月 = 15.2か月
2009年10月5日	産休入り	
2010年1月20日	育児休業	6年11か月 = 83か月
2011年4月1日	育休明け、職場復帰、時短勤務（1日6時間） （時短勤務、1日6時間、週5日勤務）	
2012年11月20日	時短勤務終了、フルタイム復帰	
2019年11月1日	臨床実習指導者講習会申込	
合計	4.6 か月 + 90 か月 + 15.2 か月 + 83 か月 = 192.8 か月 = 16年0.8か月 合計月数が 48.0か月以上 であること	